

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定												備考		
			10月	11月					12月			1月	2月				
			26	2	9	16	23	30	7	14	下	上	中	下	前	後	
固体廃棄物の保管管理 処理・処分計画	1. 発生量低減 対策の推進	持込抑制策の検討 (実績) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討 (予定) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討	検討・設計	発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討													
			現場作業														
	2. 保管適正化 の推進	ドラム缶保管 施設の設置	(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計 (予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計 ・準備工事(試掘、鉤取り) ・本体工事(土工事)(開始時期調整中)	検討・設計	固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計												・H26.8.12:安全協定に基づく事前了解【規制庁関連】 ・H26.8.13:実施計画変更認可申請
				現場作業	11月24日開始(設置工事 開始時期調整中) →準備工事12月1日開始、 本体工事(土工事)開始時期調整中	準備工事(試掘、鉤取り) 開始時期調整中	本体工事(土工事) 開始時期調整中	H29年2月竣工予定									
		保管管理計画 の更新	(実績) ・更新計画の策定 (予定) ・更新計画の策定	検討・設計	更新計画の策定												
				現場作業													
		雑固体廃棄物の 減容検討	(実績) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事 (予定) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	検討・設計	雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事												雑固体廃棄物焼却設備: H27年度10月稼働予定 ・建屋工事(~H27年6月) ・機電工事(~H27年6月) ・試運転期間(H27年7月~H27年10月) 【主要建屋工事工程】 ・基礎工事完了: H25.10.5 ・上部躯体工事: H25.8.24~ ・1階PC柱・梁取付完了: H25.12.12 ・使用前検査(基礎スラブ、2階前壁) H26.2.18、19 ・2階PC柱・梁取付完了 H26.4.7
				現場作業	雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事												
	覆土式一時保管 施設 3,4槽の 設置	(実績) ・覆土式一時保管施設 3,4槽の設置に向けた準備 ・設置工事(3槽) (予定) ・覆土式一時保管施設 3,4槽の設置に向けた準備 ・設置工事(3槽)	検討・設計	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置に向けた準備												・H26.8.12:安全協定に基づく事前了解	
			現場作業	11月上旬開始(調整中)→11/10	設置工事(3槽)												
一時保管エリア の追設/拡張	(実績) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備 (予定) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備	検討・設計	一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備														
		現場作業													・H26.10.24:エリアP1、P2、E2運用開始		
3. 瓦礫等の管理・発電所全体 から新たに放出される放射性物質 等による敷地境界線量低減	(実績) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 (予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討														
		現場作業	一時保管エリアの保管量確認、線量率測定 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 11月上旬開始(調整中)→1月上旬予定 伐採木一時保管槽へ受入(枝葉)														
4. 水処理二次廃棄物の長期保管 等のための検討	(実績) ○【研究開発】長期保管方策の検討 ・長期保管のための各種特性試験 (予定) ○【研究開発】長期保管方策の検討 ・長期保管のための各種特性試験	検討・設計	【研究開発】長期保管のための各種特性試験														
		現場作業															
処理・処分計画 固体廃棄物の性状把握	(実績) ○【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海) (予定) ○【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)	検討・設計	【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング														
		現場作業	【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)														

ガレキ・伐採木の管理状況(2014.10.31時点)

保管場所	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	種類	保管方法	保管量 ^{※1}	前回報告比 ^{※2} (2014.9.30)	変動 ^{※3} 理由	エリア 占有率
固体廃棄物貯蔵庫	0.03	ガレキ	容器	5,000 m ³	+100 m ³	①②	42%
A:敷地北側	0.40	ガレキ	仮設保管設備	2,800 m ³	+200 m ³	③	39%
C:敷地北側	0.01未満	ガレキ	屋外集積	44,400 m ³	+3,700 m ³	②④⑤	78%
D:敷地北側	0.01	ガレキ	シート養生	2,600 m ³	0 m ³	—	88%
E:敷地北側	0.02	ガレキ	シート養生	4,200 m ³	0 m ³	—	27%
F:敷地北側	0.01	ガレキ	容器	600 m ³	0 m ³	—	99%
			屋外集積	400 m ³	+100 m ³	⑥	5%
J:敷地南側	0.03	ガレキ	屋外集積	4,700 m ³	0 m ³	—	98%
L:敷地北側	0.01未満	ガレキ	覆土式一時保管施設	8,000 m ³	0 m ³	—	100%
O:敷地南西側	0.03	ガレキ	屋外集積	24,000 m ³	+3,700 m ³	②④⑤	87%
Q:敷地西側	0.12	ガレキ	容器	5,700 m ³	0 m ³	—	93%
U:敷地南側	0.01未満	ガレキ	屋外集積	700 m ³	0 m ³	—	100%
W:敷地西側	0.03	ガレキ	シート養生	20,200 m ³	+400 m ³	④	69%
合計(ガレキ)				123,300 m ³	+8,100 m ³	—	69%
G:敷地北側	0.01未満	伐採木	伐採木一時保管槽	7,300 m ³	0 m ³	—	27%
H:敷地北側	0.01	伐採木	屋外集積	14,200 m ³	+400 m ³	④	80%
I:敷地北側	0.02	伐採木	屋外集積	10,500 m ³	0 m ³	—	100%
M:敷地西側	0.01未満	伐採木	屋外集積	37,600 m ³	-400 m ³	⑦	83%
T:敷地南側	0.01	伐採木	伐採木一時保管槽	10,100 m ³	0 m ³	—	44%
V:敷地南側	0.02	伐採木	屋外集積	0 m ⁴	0 m ⁴	—	0%
合計(伐採木)				79,600 m ³	-100 m ³	—	58%

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

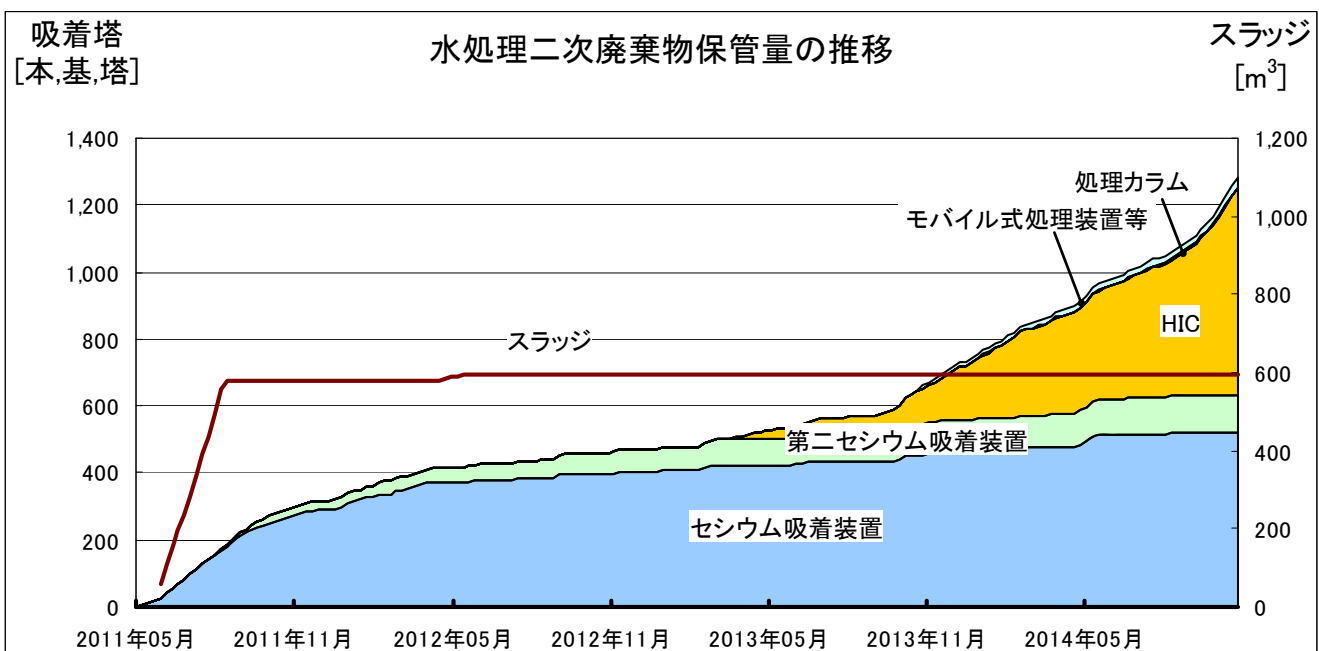
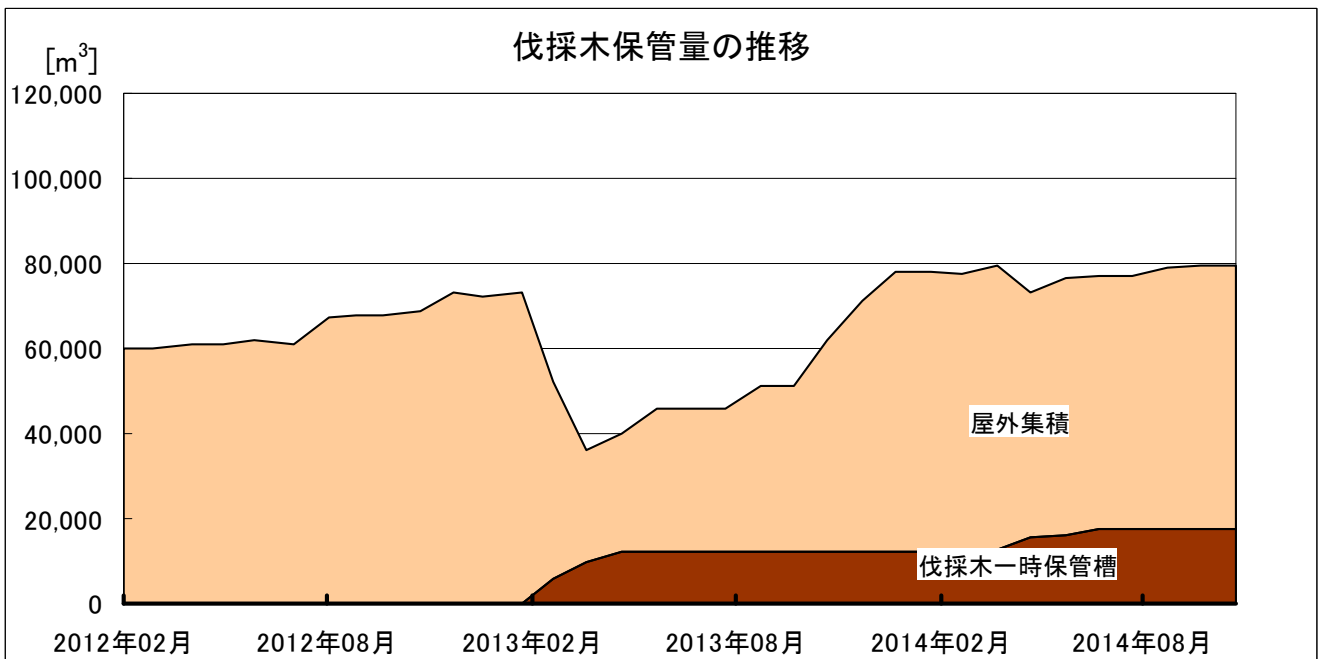
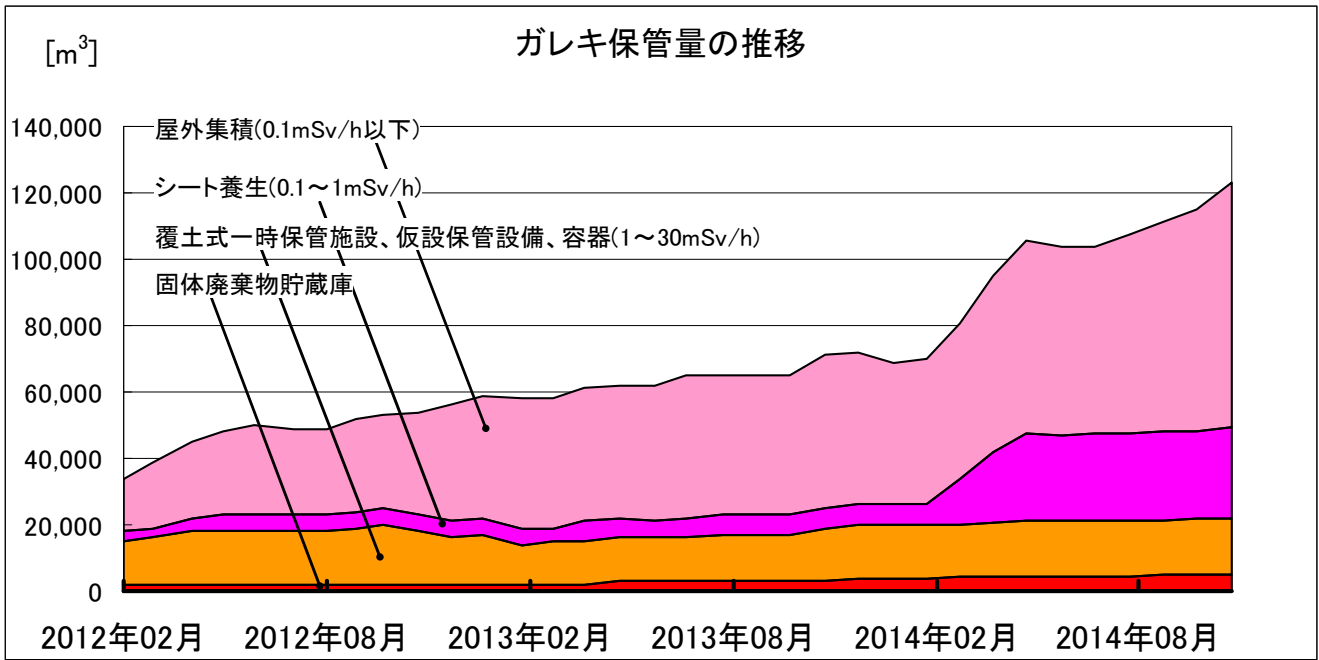
※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※3 主な変動理由: ①3号建屋瓦礫撤去関連工事 ②凍土遮水壁設置関連工事 ③1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事
④タンク設置関連工事 ⑤多核種除去設備増設関連工事 ⑥焼却対象物の集約作業 ⑦エリア内の保管物整理 等

水処理二次廃棄物の管理状況(2014.11.25時点)

保管場所	種類	保管量	前回からの増減 (2014.10.28)	保管量/保管容量	
使用済セシウム吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	518 本	0 本	50%	
	第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	116 本	+2 本		
	多核種除去設備等保管容器	既設	540 基		+107 基
		増設	76 基		
	多核種除去設備処理カラム	3 塔	0 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	31 本	+8 本			
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	85%	





ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物の保管におけるトピックス(H26年11月27日)

分類	保管量(m ³)	保管容量(m ³)	占有率(%)	トピックス	
	H26年10月31日時点(H26年9月30日報告からの増減)				
ガレキ	屋外集積 (0.1mSv/h未満)	74,200 (+7,500)	97,200	76	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、工事で発生した廃材。 ・エリアP1運用開始(H26年10月24日)
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	27,000 (+400)	48,300 (+8,800)	56	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 ・今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。 ・エリアP2運用開始(H26年10月24日)
	覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	17,100 (+200)	21,900	78	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 ・1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3,4槽設置(8,000m³)の安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・エリアE2運用開始(H26年10月24日) ・覆土式一時保管施設3槽設置工事開始(H26年11月10日)
	固体廃棄物貯蔵庫	5,000 (+100)	12,000	42	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 ・第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・第9棟設置に伴う実施計画変更認可申請(H26年8月13日)
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	62,300	88,200	71	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 ・その他工事により発生した幹・根を随時受入中。
	一時保管槽 (枝・葉)	17,400	50,100	35	<ul style="list-style-type: none"> ・当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入完了。

※保管量、保管容量については端数処理で100m³未満を四捨五入

分類	保管量	保管容量	占有率(%)	トピックス	
	H26年11月25日時点(H26年10月28日報告からの増減)				
水処理二次廃棄物	使用済ベッセル (セシウム吸着装置使用済ベッセル、第二セシウム吸着装置使用済ベッセル、多核種除去設備等の保管容器及び処理カラム、モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類)	1284本 (+117)	2,549本	50	<ul style="list-style-type: none"> ・多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設第三施設(容量3,456本)について実施計画変更認可(H26年11月20日)
	スラッジ	597 m ³	700 m ³	85	<ul style="list-style-type: none"> ・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

福島第一原子力発電所の 固体廃棄物の保管状況について

平成26年11月27日
東京電力株式会社



東京電力

2-3. 固体廃棄物貯蔵庫9棟の設備概要と進捗状況

■保管容量

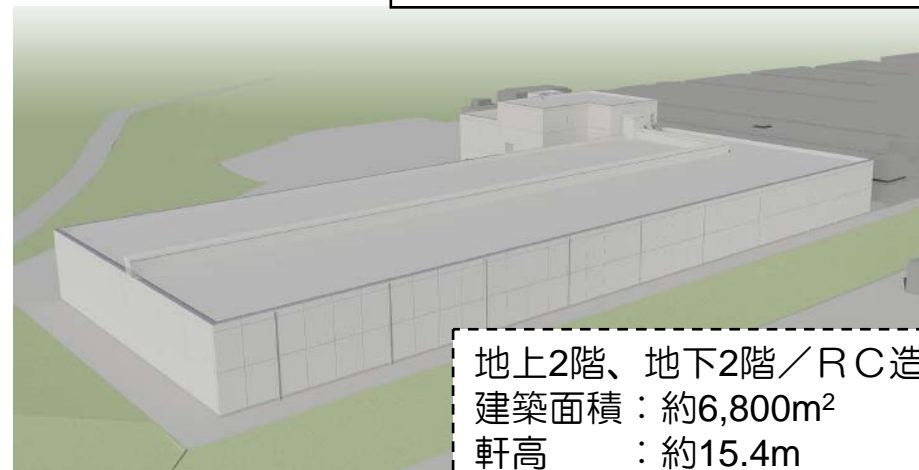
200ℓドラム缶 約110,000本相当

※1～8棟の保管容量：200ℓドラム缶約284,500本相当

■保管イメージ



■建屋イメージ



地上2階、地下2階／RC造
建築面積：約6,800m²
軒高：約15.4m
耐震クラス：C

【実績・計画】

- ～H26年11月：9棟設置エリア整理（実施中）
- H26年12月～：準備工事
- H27年 4月～：建築工事
- H27年 6月～：機電工事
- H29年：運用開始予定



9棟設置エリアの状況（H26.11.11）

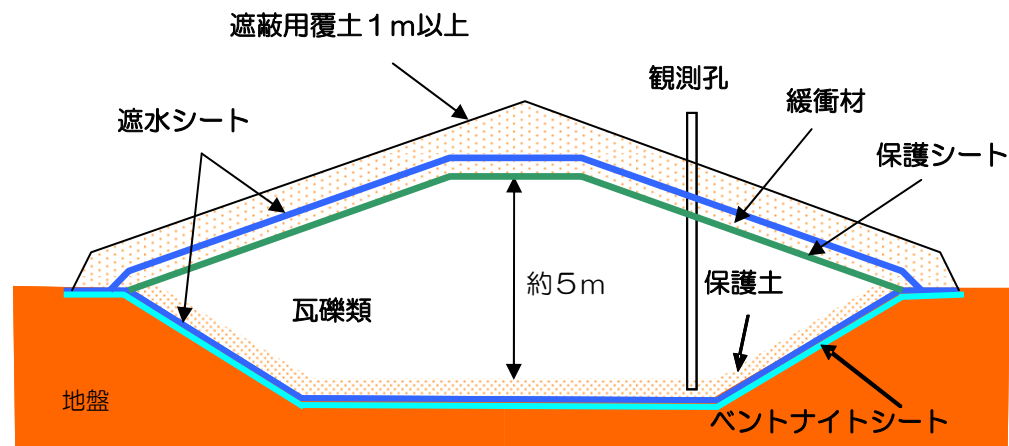
2-4. 覆土式一時保管施設第3槽の施設概要と進捗状況

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

■設備概要

- 規模
：約80m×約20m、高さ：約5m（最大）
- 保管容量
：約4,000m³/槽
- 保管物
：瓦礫類（表面線量率：30mSv/h以下）

■断面概略図



第2槽の例（H26.4.25）

【実績・計画】

- H26年11月10日：
設置エリアでの掘削開始
- H27年3月～：
瓦礫受入開始予定



第3槽設置エリアの掘削状況（H26.11.11）

3-2. 現有のセシウム吸着塔保管施設

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

仮・第二仮保管施設



第一施設
KURION(604)、SARRY等(142)



第二施設(手前)
HIC用(736)
(KURION可184)

第三施設(建設中)
HIC専用(3,456)



第四施設 KURION(680)、SARRY等(212)



提供: 日本スペースイメージング(株)©DigitalGlobe



3-4. 第二施設及び第三施設の状況について

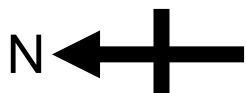
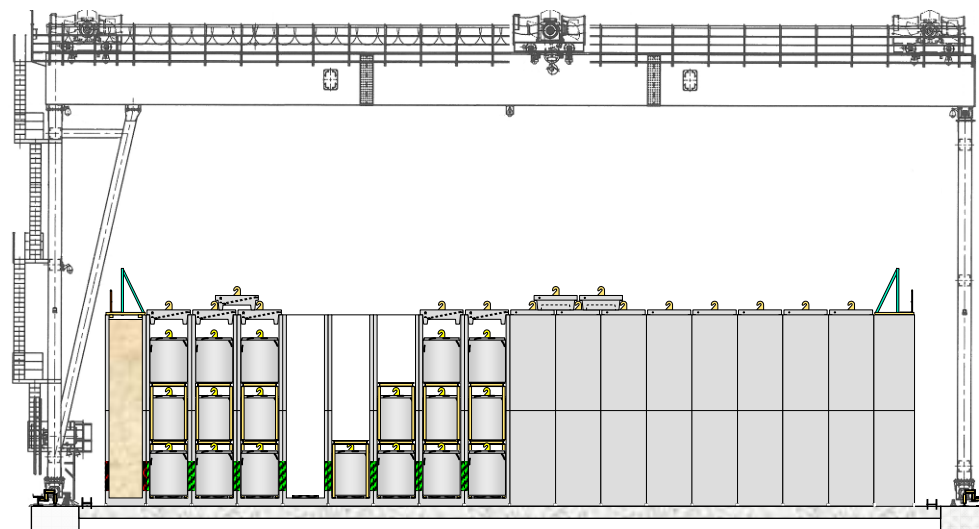
平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

- 多核種除去設備から発生するHICを保管可能な施設として運用中のものは第二施設のみ。このため当社は、**第三施設を建設し、HICの安定保管**を期している。
 - 第二施設と第三施設の**並行運用**により下記を実現。
 - ◆万一いずれかの施設で不具合が発生した際にも、片側の施設で受入れ継続。
 - ◆HICの発生量が多い場合には両施設で並行して受入れ可能。
 - 第三施設の放射線遮へい能力は第二施設に比べて高く、**敷地境界線量低減への貢献**を期待。

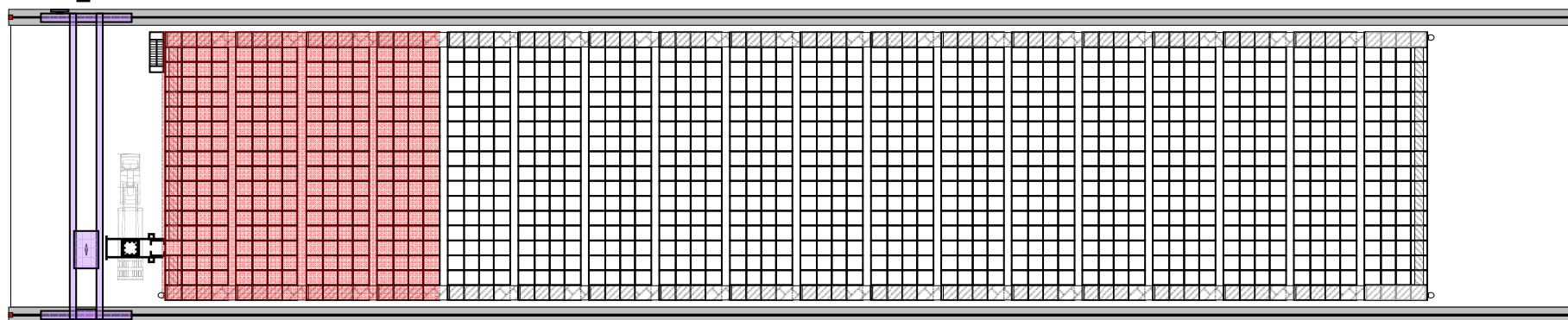
- 第三施設は実施計画が11/20に認可され、使用前検査受検等、運用開始に向けた準備を進めている。

【参考】第三施設について

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋



建設済 | 建設中



- H25.4 建設着手
- H26.2 768基分完成（全3,456基まで増設中）
- H26.4 実施計画変更申請
- H26.11 実施計画認可